

味岡グループ災害対策(救命艇・救命胴衣・救難信号発信機 等の導入)の経緯

この度 味岡グループ各社のBCP(事業継続計画)を、熊本震災の経験を元に、来たるべき南海トラフ巨大地震に備えて、全社を連携させたBCPに見直しました。 その中の一環として、国の津波避難対策特別強化地域に指定された地域にある、事業所の社員(正社員・契約社員)が、事業所内や通勤・業務中の車両運転時に、地震津波が発生しても！

社員が 安心して働いて頂けるように！ 不慮の事故が成るべく起きないように！

社員の家族が、不安や心配に思われないように！ 悲しまれないように！

逃げ場が無い事業所に津波対応型救命艇、通勤・業務中の車両運転時に津波対策用救命胴衣と小型救難信号発信機を、導入する事に決めました。

2011年3月に三陸沖を震源としたマグニチュード9.0の巨大地震、東日本大震災が起きました。 国内史上最大の震度7を観測し、その影響で津波が発生、福島県では最大9.3メートルの大津波が押し寄せ死者15,000人以上、行方不明者2,500人以上と甚大な被害をもたらした歴史的な自然災害となりました。 その翌年の2012年には、九州北部豪雨が発生し、またしても多くの犠牲者が出る事態となり、日本中が自然災害の猛威に打ちひしがれました。 その傷も癒えぬまま、復興もままならぬ中で、2016年4月に熊本地震が発生。 グループの本社が熊本である為、多くの被害、影響があり、事業継続の可否や従業員とその家族の安否確認とその後のケア等、気の休まらぬ不安な日々を過ごしました。

この経験からグループ各社BCPを、全社を連携させたBCPに見直そうと取り組みを始めました。

今年に入ってから台風や長雨による被災、また気象庁が今後30年以内に80%の確率で南海トラフ巨大地震が発生すると発表しました。 マグニチュード8クラス、発生後30分で広範囲に大津波が予想され、推定死者32万人以上とも言われています。

グループ会社の中には、海沿いで活動し津波被災が予想される事業所と、原料を納品する会社が、計6社あります。

大分味岡生コンクリート株式会社 第四工場 7号埠頭

大分県大分市日吉原 1-9

大分味岡生コンクリート株式会社 第三工場 臼杵

大分県臼杵市搔懐水輪 2119-3

宮崎味岡生コンクリート株式会社 第三工場新富

宮崎県児湯郡新富町大字上富田 434

宮崎味岡生コンクリート株式会社 第四工場串間

宮崎県串間市大字南方 1027-43

<http://ajioka-namakon.co.jp/office/>

三洋開発商事株式会社 (原料 砂・砕石輸送)

宮崎県日向市大字日知屋 5552-537

<http://ajioka-group.jp/group01/index.html>

味岡株式会社 (原料 セメント輸送)

熊本県球磨郡あさぎり町免田西 3278

<http://ajioka-trade.co.jp/>

私たち味岡グループは、毎年のように歴史的な災害が起きる、この[災害大国日本]から、全社員の命を出来るだけ守り、被害を最小限に抑える準備をし、非常時からいち早く事業を復旧し、郷土の復興に貢献するためには、私たち自らが行う、グループBCPをより強固なものにする事が最優先事項と考えました。

そしてこの強固なBCPを実現可能とするには、津波対応型救命艇、津波対策用救命胴衣と小型救難信号発信機が、歴史のデータや、東北の被災地の人達の声から、地震津波から人命を守るには、絶対に必要なツールだと至りました。

しかし周囲の企業や住民の備えは、他力任せで進んでいないのが現状です・・・

私たち味岡グループは、共に生きている郷土にお返し込めて、この備えの重要性、必要性を多くの方に理解し、実感していただく為に、大分県と宮崎県へ津波対応型救命艇を、寄付致します。

守れる命の為に、今準備が必要です。